

コーススケジュール

下記のコーススケジュールは、講習の受講生人数が2人の場合に、最短時間で全コースを終了した場合を想定して作成されています。

試験に合格する為の準備講習会が4日間と、試験が1日間です。実技講習会を受講せずに、試験のみを受験することもできますが、最短期間で合格する為に、講習会の受講をお勧めいたします。

あなたの技術習得速度や受講生人数によりコーススケジュールが変更される場合がありますので、実際のコーススケジュールについてはトレーナーと打ち合わせをしてください。

1日目	
9:00~17:00	<p>水面フロートを使用したファンダイビング実施法の練習（採点表の各パートごと）</p> <p>水面フロートを使用しないファンダイビング実施法の練習（採点表の「潜降」と「浮上」のパートのみ）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① トレーナーのデモンストレーションを確認します。 ② あなたがトレーナーと同じようにデモンストレーションします。 ③ トレーナーは、あなたのデモンストレーションに説明不足や誤った行動がないか確認します。 ④ あなたの、デモンストレーションに説明不足や誤った行動がある場合には、トレーナーは、それにより起こるかもしれないトラブルについて明示したりトラブルを実演します。 ⑤ アドバイスにしたがって、デモンストレーションの練習をします。 <hr/> <p>水面フロートを使用したファンダイビング実施法の練習（採点表の連続した全パート）</p> <p>水面フロートを使用しないファンダイビング実施法の練習（採点表の連続した全パート）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 受講生の1名がアシスト役となり、あなたが、プリーフィングからディプリーフィングまで、一連のファンダイビングの引率をデモンストレーションします。 ② トレーナーは、あなたのデモンストレーションに説明不足や誤った行動がないか確認します。 ③ あなたの、デモンストレーションに説明不足や誤った行動がある場合には、トレーナーは、それにより起こるかもしれないトラブルについて明示したりトラブルを実演します。 ④ アドバイスにしたがって、デモンストレーションの練習をします。
17:30~18:00	ファンダイビング実施法に関する本日の評価

2日目	
9:00~17:00	<p>スキンド이버講習実施法の練習（採点表の各パートごと）</p> <p>① トレーナーのデモンストレーションを確認します。 ② あなたがトレーナーと同じようにデモンストレーションします。 ③ トレーナーは、あなたのデモンストレーションに説明不足や誤った行動がないか確認します。 ④ あなたの、デモンストレーションに説明不足や誤った行動がある場合には、トレーナーは、それにより起こるかもしれないトラブルについて明示したりトラブルを実演します。 ⑤ アドバイスにしたがって、デモンストレーションの練習をします。</p> <p>スキンド이버講習実施法の練習（採点表の連続した全パート）</p> <p>① あなたが、ブリーフィングからディブブリーフィングまで、一連のスキンド이버講習をデモンストレーションします。 ② トレーナーは、あなたのデモンストレーションに説明不足や誤った行動がないか確認します。 ③ あなたの、デモンストレーションに説明不足や誤った行動がある場合には、トレーナーは、それにより起こるかもしれないトラブルについて明示したりトラブルを実演します。 ④ アドバイスにしたがって、デモンストレーションの練習をします。</p>
17:30~18:00	スキンド이버講習実施法に関する本日の評価
3日目	
9:00~17:00	<p>体験ダイビング実施法の練習（採点表の各パートごと）</p> <p>⑥ トレーナーのデモンストレーションを確認します。 ⑦ あなたがトレーナーと同じようにデモンストレーションします。 ⑧ トレーナーは、あなたのデモンストレーションに説明不足や誤った行動がないか確認します。 ⑨ あなたの、デモンストレーションに説明不足や誤った行動がある場合には、トレーナーは、それにより起こるかもしれないトラブルについて明示したりトラブルを実演します。 ⑩ アドバイスにしたがって、デモンストレーションの練習をします。</p> <p>体験ダイビング実施法の練習（採点表の連続した全パート）</p> <p>⑤ あなたが、ブリーフィングからディブブリーフィングまで、一連のスキンド이버講習をデモンストレーションします。 ⑥ トレーナーは、あなたのデモンストレーションに説明不足や誤った行動がないか確認します。 ⑦ あなたの、デモンストレーションに説明不足や誤った行動がある場合には、トレーナーは、それにより起こるかもしれないトラブルについて明示したりトラブルを実演します。 ⑧ アドバイスにしたがって、デモンストレーションの練習をします。</p>
17:30~18:00	体験ダイビング実施法に関する本日の評価

4日目	
9:00~18:00	<p>レスキュー手順の練習 (採点表の各パートごと)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① トレーナーのレスキュー手順を確認します。 ② あなたがトレーナーと同じようにレスキュー手順のデモンストレーションをします。 ③ トレーナーは、あなたのデモンストレーションに誤った行動がないか確認します。 ④ あなたの、デモンストレーションに誤った行動がある場合には、トレーナーは、それにより起こるかもしれないトラブルについて明示したりトラブルを実演します。 ⑤ アドバイスにしたがって、レスキュー手順の練習をします。
	<p>レスキュー手順に関する本日の評価</p>
	<p>補講 3日間で練習した内容で、合格レベルに達していないと思われるパートについて補講を行います。</p>
	<p>プレゼンテーションの練習</p> <p>トレーナーから指示された項目について、口述でプレゼンテーションを行います。例えば下記の内容についてプレゼンテーションします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オクトパスを右だしにする、もしくは、左だしにする理由。 2. 一番好きなダイビングスタイルとその理由。 3. 一番好きな魚とその理由。 4. あなたが1年生(初心者)2人と2年生2人をつれてファンダイビングを引率する場合の、フォーメーション(バディ編成)とその理由。 5. あなたは伊豆海洋公園のファンダイビングを計画中です。また、当日の伊豆海洋公園の海況予想は潜水注意です。 参加予定メンバーが、1年生(初心者)4人と2年生2人の場合、ポイント変更の選択肢も含めて、どのようなツアー計画を立てますか？ 6. あなたは伊豆海洋公園のファンダイビングを計画中です。また、当日の伊豆海洋公園の海況予想は潜水注意です。 参加予定メンバーが、海洋公園に潜った事のある2年生2人と3年生2人の場合、ポイント変更の選択肢も含めて、どのようなツアー計画を立てますか？ 7. 安全管理について

5日目	
9:00~17:00	<p>ファンダイビング実施法 実技試験</p> <p>あなたが、ブリーフィングからディブリーフィングまで、一連のファンダイビングをデモンストレーションします。</p> <p>水面フロートの使用の有無は、トレーナーにより指示されます。</p> <p>デモンストレーション中に採点表の全ての項目が合格とならなければいけません。</p>
	<p>スキンド이버講習実施法 実技試験</p> <p>あなたが、ブリーフィングからディブリーフィングまで、一連のスキンド이버講習をデモンストレーションします。</p> <p>デモンストレーション中に採点表の全ての項目が合格とならなければいけません。</p>
	<p>体験ダイビング実施法 実技試験</p> <p>あなたが、ブリーフィングからディブリーフィングまで、一連のスキンド이버講習をデモンストレーションします。</p> <p>デモンストレーション中に採点表の全ての項目が合格とならなければいけません。</p>
	<p>レスキュー手順 実技試験</p> <p>あなたが、採点表の全パートについて、一連のレスキュー手順をデモンストレーションします。</p> <p>デモンストレーション中に採点表の全ての項目が合格とならなければいけません。</p>
17:30~19:00	合否判定

ファンダイビング実施法 実技試験 採点表
(実行できた項目の口印を塗りつぶして■にする。全ての項目が■になれば合格。)

全般

- 自分自身が4秒以内毎にメンバーの動静確認ができるように行動した。あるいは、4秒以内毎にメンバーの動静確認をするようにアシスタントに指示した。

オリエンテーション・ブリーフィング

- ダイブリーダーチェックシートに規定されている内容で、オリエンテーションとブリーフィングを行い、説明に誤りや不足がなかった。
- ダイブマスターを追い越したり、ダイブマスターの最大水深を超えないようにメンバーにあらかじめ告知した。
- バディが互いに手を伸ばしたときに相手と握手できる距離（バディ間距離）を保つようにメンバーに伝えた。
- メンバー全員の残留窒素時間をあらかじめ確認した。
- 浮上速度は毎分10mにすることをメンバーに伝えた。

エントリー

- メンバーより先にエントリーした。
- メンバー全員が入水するまで、メンバーから目を離さなかった。
- 状況に応じてメンバーの補助をした。
- 水面移動時には、必要に応じてメンバーに浮力調整器やレギュレーターを使用させた。
- 潜降前にメンバーに十分な浮力確保をさせ、全員の体調や心理状態を確認した。
- メンバー全員の疲労状態を確認して、必要があれば水面で十分な休息をとった後に潜降を開始した。

潜降

- 潜降地点の海底での目標物を明確にし、チームからはくれるメンバーがいないように配慮した。
- バディ同士で潜降させた。
- 必要に応じて、耳の具合や心理状態など、メンバーの異変に応じることができるようメンバーとアイコンタクトをとりながら潜降した。

水中活動

- メンバー全員が海底に集合し、異常ないことを確認してから水中の移動を開始した。
- 常にチーム全体を視界内にいれ、チームコントロールを適切に行った。
- メンバーの残圧を常に把握し、残圧の少ないメンバーに合わせてコースを臨機応変に組み立てた。

浮上

- 浮上に必要な残圧があるか確認をした。
- 浮上の際には、海底にメンバーが残っていないことを確認してから浮上した。
- 浮上スピードを守った。
- リバースブロックや心理状態など、メンバーの異変に応じることができるようにアイコンタクトをとった。
- バディ同士で浮上させた。
- メンバーを水中で一時停止させ、水面のボートに対する安全を確認した。

エキジット

- 水面移動前にメンバーに十分な浮力確保をさせ全員の体調と心理状態を確認した。
- 水面移動時には必要に応じてメンバーに浮力調整器やレギュレーターを使用させた。
- エキジット地点の目標物を明確にし、チームからはぐれるメンバーがいないように配慮した。
- メンバー全員の疲労状態を確認して、必要があれば十分な休息をとった後に水面移動を開始した。
- メンバー全員が退水するまで退水しなかった。
- メンバー全員が退水するまでメンバーから目を離さなかった。

ディブリーフィング

- ダイブリーダーチェックシートに基づきディブリーフィングを行った。
- メンバーの人数を確認した。
- メンバーの体調を確認した。
- 器材に損傷や異物の混入がないように輸送した。
- 故障している潜水器材に関しては直ちに修理するか、故障していることを明示する札等により第三者が使用しないように注意して管理した。
- 関係先へ潜水が終了した旨を連絡した。
- 体調の悪いメンバーがいる場合には、適切な対応をした。

スキンド이버講習実施法 実技試験 採点表
(実行できた項目の□印を塗りつぶして■にする。全ての項目が■になれば合格。)

セクション	場所	指導内容	合格確認
□ブリーフィング	P.S	<input type="checkbox"/> 各スタッフとその役割の紹介 <input type="checkbox"/> 参加者全員の紹介 <input type="checkbox"/> 終了時間と休憩時間（30分から1時間毎）の予定 <input type="checkbox"/> プールサイドは走らない <input type="checkbox"/> 指示があるまで入水しない <input type="checkbox"/> 指示された水域で練習する <input type="checkbox"/> 指示された練習のみをする <input type="checkbox"/> バディ決定と告知 <input type="checkbox"/> 講習用ハンドシグナルの確認： <input type="checkbox"/> 私を見てください <input type="checkbox"/> 練習やめ <input type="checkbox"/> 呼吸：吸う、吐く <input type="checkbox"/> もう一度 <input type="checkbox"/> マスクブロー <input type="checkbox"/> 遊泳姿勢に注意 <input type="checkbox"/> フィンワークに注意 <input type="checkbox"/> あなた <input type="checkbox"/> 開始の了解	
□開始前の準備体操	P.S	<input type="checkbox"/> 特にふくろはぎの筋肉に注意	
□軽器材の準備	P.S	<input type="checkbox"/> 故障がなくサイズのあった器材を準備する	
□スーツ□ブーツの着用	P.S	<input type="checkbox"/> 使用スーツの表□裏の説明 <input type="checkbox"/> 着用の仕方（パウダーや水を利用） <input type="checkbox"/> フィット感の確認	<input type="checkbox"/> 1人で正しく装着できる

セクション	場所	指導内容	合格確認
□マスクの調整と装脱着	P.S	<input type="checkbox"/> ストラップの調整 <input type="checkbox"/> くもり止め <input type="checkbox"/> マスクストラップの位置 <input type="checkbox"/> よじれ、締めつけ具合と調整 <input type="checkbox"/> 髪の毛の巻き込みはないか	<input type="checkbox"/> 1人で正しく装着できる
□スノーケルの呼吸法と装脱着	P.S	<input type="checkbox"/> スノーケルの正しい装着 「あ <small>□</small> い <small>□</small> う」の活用 <hr/> <input type="checkbox"/> スノーケルによる呼吸法	<input type="checkbox"/> マウスピースが容易にはずれない <hr/> <input type="checkbox"/> 呼吸抵抗になれる <input type="checkbox"/> 呼吸死腔を考慮してゆっくり大きく呼吸できる
□フィンの装脱着	P.S	<input type="checkbox"/> ストラップの調整 <input type="checkbox"/> 左右と表裏の説明	<input type="checkbox"/> フィンを正しく転倒の危険なく装着できる
□ウエーディングエントリー方法 (フィンをはいて歩行)	P.S	<input type="checkbox"/> 歩行に邪魔になる障害物がないか確認 <hr/> <input type="checkbox"/> 後ろ向き、左右歩行	<hr/> <input type="checkbox"/> 転倒せずに各5歩程度の歩行ができ、落ち着いて立ち止まれる
□軽器材のまとめ方	P.S	<input type="checkbox"/> フィンをマスクストラップでまとめる	<input type="checkbox"/> ひとまとめにしてある状態が適切である
□ウエイトシステムの準備と装着	P.S	<input type="checkbox"/> 予想される適正ウエイト量を指示 <hr/> <input type="checkbox"/> 右手にベルト部を持って左手でバックル部分を持ち、ベルトをまたいで腰に装着する（危険防止のため、回して腰につけない） <hr/> <input type="checkbox"/> ウエイト落下時の危険回避するための持ち方（体側）と移動 <hr/> <input type="checkbox"/> 緊急時のウエイトリリースの方法	<input type="checkbox"/> 装着姿勢が良く目視せずにできる <hr/> <input type="checkbox"/> ウエイト落下時に怪我をしない持ち方（体側に持つ）ができる <hr/> <input type="checkbox"/> 目視せずにすみやかにリリースできる

セクション	場所	指導内容	合格確認
□全装備の装着とボディチェック	P.S	□ウエイトベルトの位置 □マスクストラップの位置、よじれ、髪の毛の巻き込み	□互いに正しく確認できる
□シッピングエントリー方法 (プール講習の場合のみ行う)	P.S ～ 浅水中	□背中をプールサイドにぶつけないように注意	□プールサイドからの入水方法が適切である
□水中でのスノーケルの使用法	浅水中	□プールサイドにつかまり、マスクをつけたまま1分間スノーケルによる水中での呼吸	□鼻から息を吐かずに、楽に呼吸できる
□スノーケルクリア	浅水中	□プールサイドにつかまり、スノーケルを水没させ連続してスノーケルクリア (吹き矢を吹くように強く)	□水面に顔を上げずに、連続してスノーケルクリアができる
□マスククリアとマスクブロー	浅水中	□マスク内に半分位水を入れて、しばらく呼吸後クリア ----- □マスク内に全部水を入れて、しばらく呼吸後クリア ----- □マスクブロー、マスククリアの方法と違い	□マスクに入っても、呼吸を継続できる □マスククリアを落ち着いて繰り返すことができる □マスクブローができる。
□中性浮力の確認	浅水中	□中性浮力が適正に取れているか確認しウエイト量を再調整する □呼吸により浮力が変化することを確認	□適正なウエイトを準備できる(オーバーウエイトは禁止) □浮力の変化を体感できる
□フィンの使い方	浅水中	プールサイドにつかまり数分間のフィンキックの練習	□膝から曲げて自転車こぎにならない
□移動歩行と立ち止まり方	浅水中	□左右歩行 各5歩程度 □うつ伏せに浮いた状態から体を回し立つ動作	□転倒せずに歩行でき、落ち着いて立ち止まれる
□水面移動	浅水中	□胸をはってゆっくりと大きくフィンキックをする □最初は、泳ぎ方のアドバイスができるように、短距離(1往復10m程度)で行う。 ----- □プールサイドへの衝突防止のためにも前方を見るように指示(視線に注意)	□立ち止まらずに連続して泳ぐことができる □前方を見て泳げる

セクション	場所	指導内容	合格確認
□水面移動と水中移動	浅水中	□水平方向に泳ぎながら、潜降と浮上を繰り返して行う。	□スノーケルクリアをしながら連続して50m以上泳げる
□片フィンなし水面移動	浅水中	□マスクとシュノーケルと片フィンで水面移動	□連続して50m以上泳げる
□マスクなし水面移動	浅水中	□シュノーケルとフィンで水面移動	□連続して50m以上泳げる
□足のけいれん	浅水中	□こむら返りの対応	□左右できる
□緊急時の浮力確保	浅水中	□水面でウェイトを外して浮力確保 □水面下ダイバーの有無を目視	□水面下ダイバーの有無を目視し、リリースできる
□立ち泳ぎ	深水中	□水面で5分程度の立ち泳ぎ	□5分の立ち泳ぎができる
□潜降Ⅰ (ラダー又は潜降ロープの使用)	浅水中 ～ 深水中	□フィートファースト □耳抜きの確認	□潜降と耳抜きが行える
□潜降Ⅱ (ラダー又は潜降ロープを使用しない)	浅水中 ～ 深水中	□フィートファースト姿勢の確認 □ヘッドファースト姿勢の確認 □耳抜きの確認	□潜降姿勢が適切 □潜降中に耳抜きが行える
□浮上 (ラダー又は潜降ロープを使用しない)	浅水中 ～ 深水中	□浮上中の水面確認	□水面の安全を目視確認できる
□基本的な曳航法(2種類)	浅水中	□2種類の曳航法 (フットプッシュとスプレットイ ーグルフラッターキック)	□2種類の方法でそれぞれできる
□シミュレーション	浅水中 ～ 深水中	□オープンウォーターを想定しての、エントリー～水面移動～スキンドайビング～エキジットまでの一連動作。 □スキンドайビングはバディを交互に水面待機させて、相手を観察する。	□バディ間距離が維持できる □チームから離反しない □スキンドайビング中のバディ観察ができる

セクション	場所	指導内容	合格確認
□器材の取り外しと水洗い・手入れ	P.S	<input type="checkbox"/> 真水で洗い、日陰で乾燥 <input type="checkbox"/> マスクのスカートやフィンのブレードに圧力をかけない <input type="checkbox"/> スーツはスーツハンガーにかける	□1人で正しくできる
□ディブリーフィング	P.S	<input type="checkbox"/> ダイブリーダーチェックシートの内容 <input type="checkbox"/> 体調の確認	

体験ダイビング実施法（最大深度4m 背の立たない場所）実技試験 採点表
 （実行できた項目の口印を塗りつぶして■にする。全ての項目が■になれば合格。）

セクション	場所	指導上の注意点
<input type="checkbox"/> プリーフィング	P.S	<ul style="list-style-type: none"> ・各スタッフとその役割の紹介 ・参加者全員の紹介 ・終了時間と休憩時間（30分から1時間毎）の予定 ・プールサイドは走らない ・指示があるまで入水しない ・指示された水域で練習する ・指示された練習のみをする ・バディ決定と告知 ・講習用ハンドシグナルの確認： <ul style="list-style-type: none"> “私を見てください” “練習やめ” “呼吸：吸う、吐く” “もう一度” “あなた” ・開始の了解
<input type="checkbox"/> 開始前の準備体操	P.S	<ul style="list-style-type: none"> ・特にふくろはぎの筋肉に注意
<input type="checkbox"/> 軽器材の準備	P.S	<ul style="list-style-type: none"> ・故障がなくサイズのあった器材を準備する
<input type="checkbox"/> スーツ・ブーツの着用	P.S	<ul style="list-style-type: none"> ・使用スーツの表・裏の説明 ・着用の仕方（パウダーや水を利用） ・フィット感の確認
<input type="checkbox"/> フィンの装着法	P.S	<ul style="list-style-type: none"> ・ストラップの調整 ・左右と表裏の説明
<input type="checkbox"/> フィンの使用法	P.S	<ul style="list-style-type: none"> ・膝から曲げて自転車こぎにならないように
<input type="checkbox"/> マスク無しで深呼吸による呼吸	P.S	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりと深い呼吸

セクション	場所	指導上の注意点
□マウスピースの装着法	P.S	<ul style="list-style-type: none"> ・レギュレーターの正しい装着 ・マウスピースが容易に口からはずれないように「あ・い・う」の活用 ・レギュレータを引っ張っても、マウスピースが容易に口からはずれない ・呼吸抵抗になれる ・呼吸死腔を考慮してゆっくり大きく呼吸できる
□マスク無しで深呼吸による陸上スクーバ呼吸	P.S	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーバによる呼吸法 ・呼吸抵抗になれる ・呼吸死腔を考慮してゆっくり大きく呼吸できる
□マスクの調整と装着	P.S	<ul style="list-style-type: none"> ・ストラップの調整 ・くもり止め ・マスクストラップの位置 ・よじれ、締めつけ具合と調整 ・髪の毛の巻き込みはないか
□マスクを装着して深呼吸による陸上スクーバ呼吸	P.S	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーバによる呼吸法 ・呼吸抵抗になれる ・呼吸死腔を考慮してゆっくり大きく呼吸できる
□スクーバユニットの装着	浅水中	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーバユニットの重量を感じないように、指導員が参加者に水中で装着させる
□マスクを装着して深呼吸による水中スクーバ呼吸	浅水中	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーバによる呼吸法 ・呼吸抵抗になれる ・呼吸死腔を考慮してゆっくり大きく呼吸できる
□マスク無しで深呼吸による水中スクーバ呼吸	浅水中	<ul style="list-style-type: none"> ・息苦しさを感しないて継続して呼吸できる

セクション	場所	指導上の注意点
<input type="checkbox"/> 水没したマスクを装着した状態で、気中での深呼吸によるスクーバ呼吸	浅水中	・息苦しさを感じないで継続して呼吸できる
<input type="checkbox"/> 水没したマスクを装着した状態で、水中での深呼吸によるスクーバ呼吸	浅水中	・息苦しさを感じないで継続して呼吸できる ・レギュレータを引っ張っても、マウスピースが容易に口からはずれない
<input type="checkbox"/> 気中でのマスククリアとマスクブロー ↓ <input type="checkbox"/> 水中でのマスククリアとマスクブロー	浅水中	・マスク内に半分位水を入れて、しばらく呼吸後クリア ・マスク内に全部水を入れて、しばらく呼吸後クリア ・マスクに水が入っても、息苦しさを感じないで呼吸を継続できる ・マスククリアを落ち着いて繰り返してできる ・マスクブロー、マスククリアの方法と違い ・マスクブローができる。
<input type="checkbox"/> 気中で耳抜き ↓ <input type="checkbox"/> 水中で耳抜き	浅水中	・鼻の押さえ方 ・耳抜きの確認
<input type="checkbox"/> 気中でのレギュレーターリカバリ ↓ <input type="checkbox"/> 水中でのレギュレーターリカバリ	浅水中	・2種類の方法ができる。
<input type="checkbox"/> 気中でのレギュレータークリア ↓ <input type="checkbox"/> 水中でのレギュレータークリア	浅水中	・2種類の方法ができる。
<input type="checkbox"/> 水面浮力確保のための水面でのパワーインフレーター給気法。排気法のレッスンは不要。	浅水中	・パワーインフレーターを目視せずに、浮力が確保できるまで十分に給気出来る ・水中での給気及び排気は禁止の旨を参加者に伝える
ここまでの全てのセクションがスムーズにできなければ、背の立たない場所での体験ダイビングは実施できません。		
<input type="checkbox"/> 注意事項の説明とフィンの装着	浅水中	・息を止めない ・勝手な行動をしない ・転倒ないように指導員が参加者を支えて行う
<input type="checkbox"/> 全装備での水中散歩	深水中	・ゆるやかなスロープ、ラダー又は潜降ロープの使用 ・参加者の動静確認は常時行う

レスキュー実技試験 採点表
(実行できた項目の口印を塗りつぶして■にする。全ての項目が■になれば合格。)

- 「BCレスキュー（STARSベーシックレスキューマニュアル）」手順
- 「スイミングレスキュー（STARSベーシックレスキューマニュアル）」手順
- 「水面で意識を失っているダイバーのレスキュー（STARSレスキューマニュアル）」手順
- 「水中で意識を失っているダイバーのレスキュー（STARSレスキューマニュアル）」手順
- 「海岸への引きあげ（STARSレスキューマニュアル）」手順
- 「ボートや段差のある場所への引き上げ（STARSレスキューマニュアル）」手順

スチューデントダイブマスター安全会議

皆さんの後輩から下記のような質問がありました。

スチューデントダイブマスターとして何と答えるべきでしょうか？

- 1 自分のオクトパス 右だしですか？左だしですか？理由を教えてください
- 2 一番好きなダイビングスタイルは何ですか？
- 3 一番好きな魚は何ですか？理由を教えてください
- 4 自分が 1 年生2人、2年生2人をつれてダイビングをします どういうバディ編成にしますか？理由を教えてください
- 5 伊豆海洋公園のダイビングを計画中です。
当日の予想は潜水注意の予定です。
メンバーは
パターン1 初めて潜る1年生4人と2年生2人。
パターン2 海洋公園に潜った事のある2年生2人と3年生2人。
ポイントを変える選択肢も含めどのようなツアー計画を立てますか？
- 6 自分の考える安全管理とは何ですか？